# 部材マスタの編集手順

１．ESCORTマスターのExcel出力手順

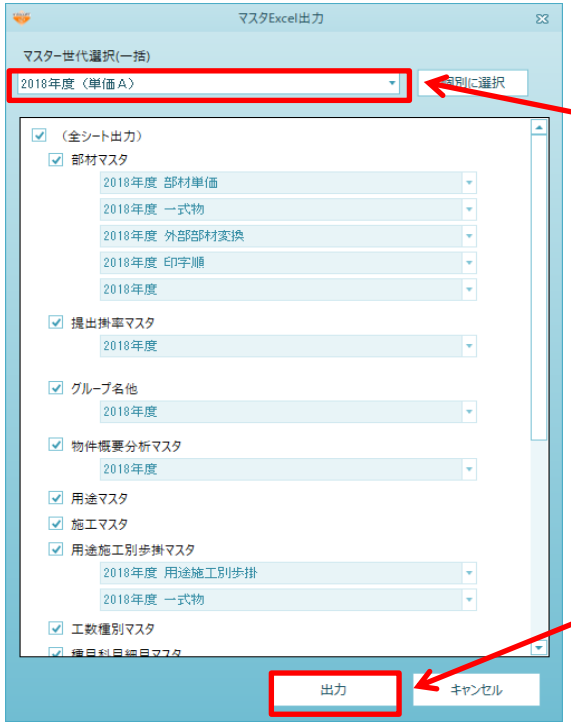
① システムにログインし、マスターメンテナンスボタンをクリックします。




② マスタExcel出力ボタンをクリックします。



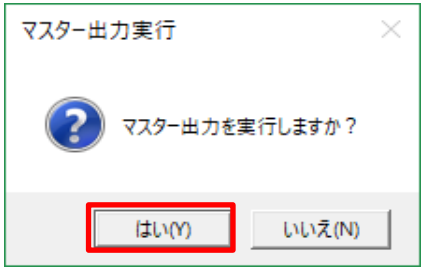
③　出力するマスターの世代を選択し、出力ボタンをクリックします。



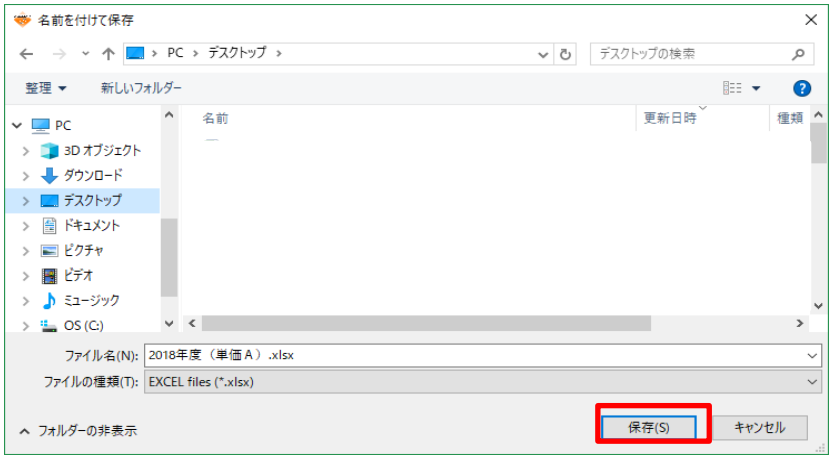

プルダウンより出力するマスターを世代を選択します。

出力ボタンをクリックします。

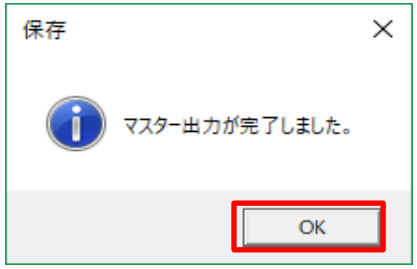
④　「はい」をクリックします。



⑤　ファイルの出力先を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

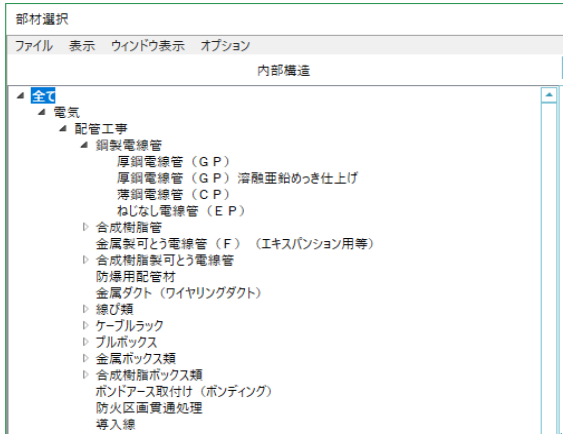



⑥　以下のメッセージが表示されましたら完了です。「OK」ボタンをクリックします。

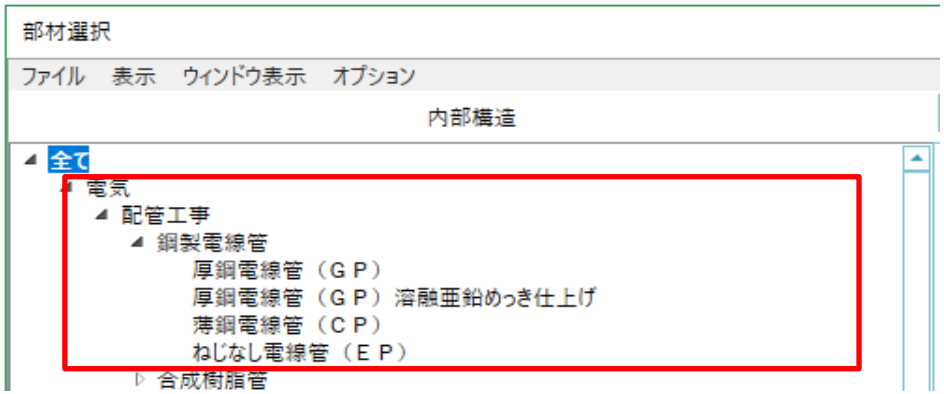


## 2．ESCORTマスターExcelの編集手順（階層追加編）

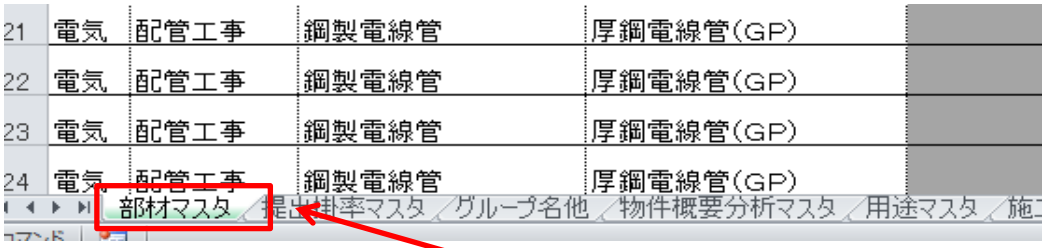
部材マスターの階層追加を行う場合の手順です。
階層とは部材マスター参照時の下図のことです。




下図の赤枠部分を作成する場合の手順で説明します。



① 階層追加を行う場合は部材マスタシートのツリー0～ツリー9の列を使用します。
（ 0 ～ 9 は階層の深さを意味します。）

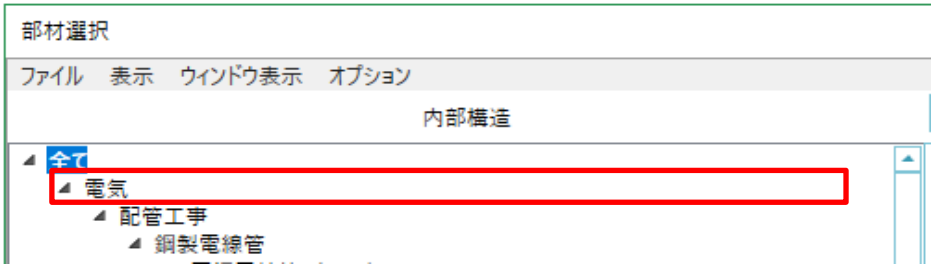



部材マスタのシートを使用します。

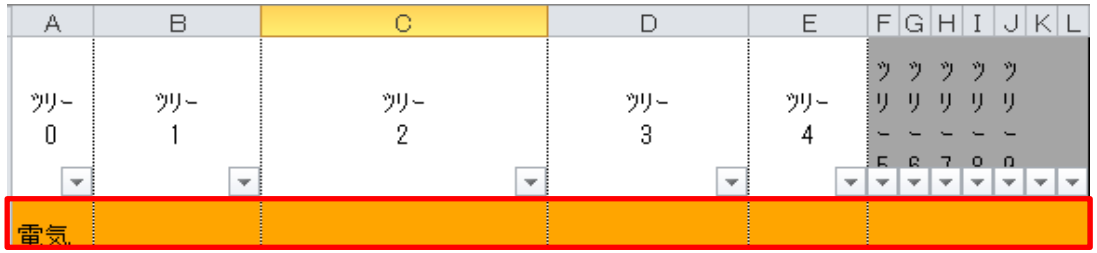



ツリー0 ～ ツリー9 を使用します。
（階層追加時はそれ以外のシート及び列は使用しません。）

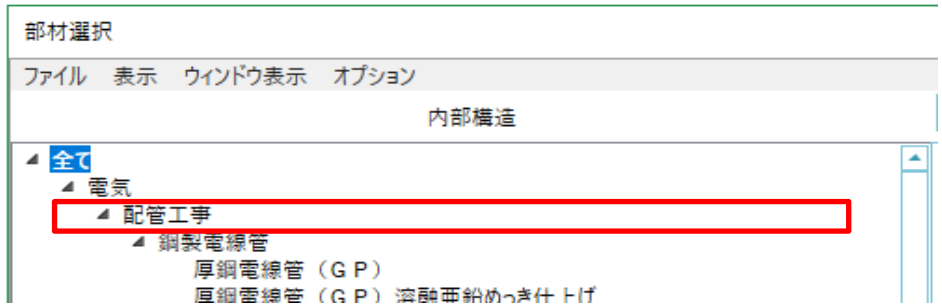
② 下図赤枠の ”電気” を追加します。



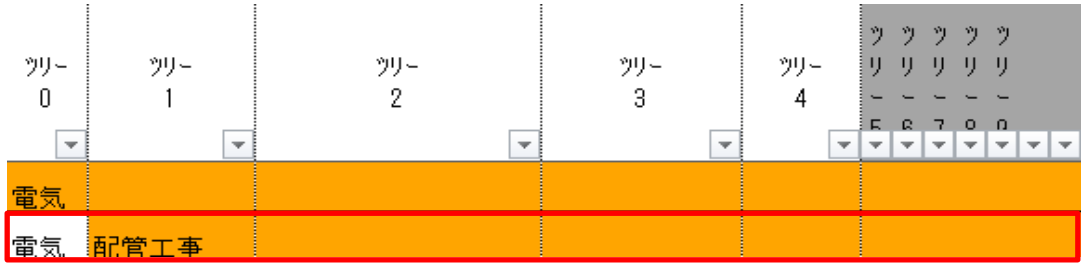
EXCEL上で1行挿入し、ツリー0に ”電気” と入力します。
それ以外の列項目は空のままとして下さい。背景色は白色のままでも問題ありません。



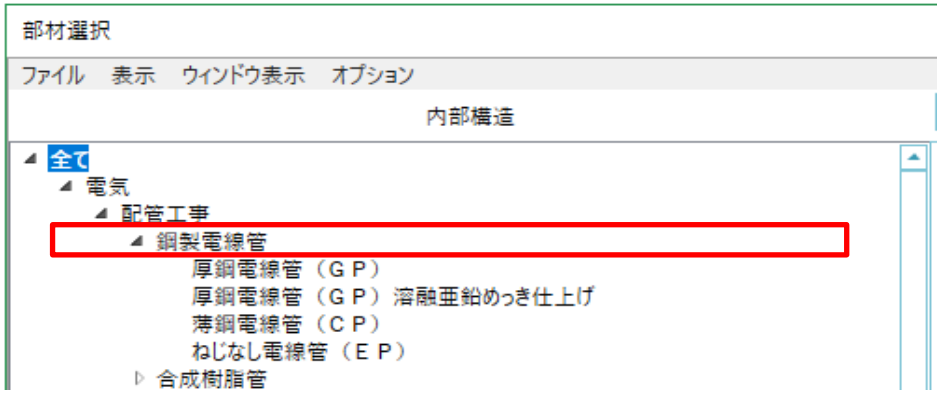

③　下図赤枠部分の ”配管工事” を追加します。




EXCEL上で1行挿入し、
ツリー0に ”電気” 、ツリー1に ”配管工事” と入力します。



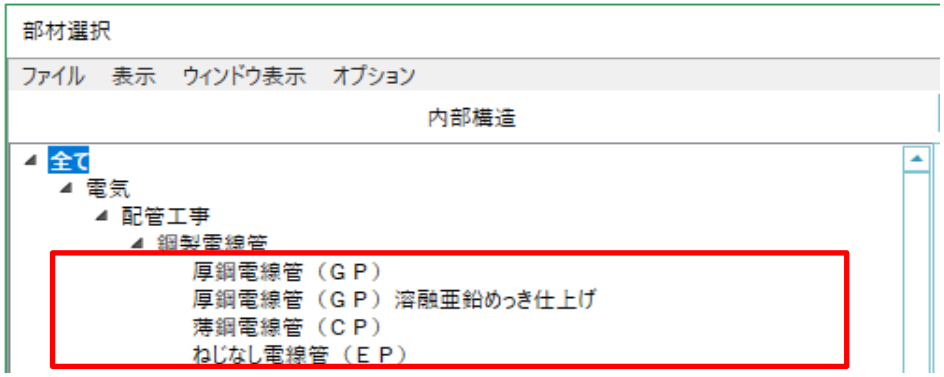
④　下図赤枠部分の ”鋼製電線管” を追加します。




EXCEL上で1行挿入し、
ツリー0に ”電気” 、ツリー1に ”配管工事” 、ツリー2に ”鋼製電線管” と入力します。

| A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ツリー0 | ツリー1 | ツリー2 | ツリー3 | ツリー4 | ツリー5 | ツリー6 | ツリー7 | ツリー8 | ツリー9 | | |
| 電気 | | | | | | | | | | | |
| 電気 | 配管工事 | | | | | | | | | | |
| 電気 | 配管工事 | 鋼製電線管 | | | | | | | | | |

⑤　下図赤枠部分を追加します。




EXCEL上で行挿入し、
ツリー0に ”電気” 、ツリー1に ”配管工事” 、ツリー2に ”鋼製電線管” と入力します。
ツリー3に上図の赤枠部分の名称を入力します。

| ツリー0 | ツリー1 | ツリー2 | ツリー3 | ツリー4 | ツリー5 | ツリー6 | ツリー7 | ツリー8 | ツリー9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 電気 | | | | | | | | | |
| 電気 | 配管工事 | | | | | | | | |
| 電気 | 配管工事 | 鋼製電線管 | | | | | | | |
| 電気 | 配管工事 | 鋼製電線管 | 厚鋼電線管(GP) | | | | | | |
| 電気 | 配管工事 | 鋼製電線管 | 厚鋼電線管(GP)溶融亜鉛めっき仕上げ | | | | | | |
| 電気 | 配管工事 | 鋼製電線管 | 薄鋼電線管(CP) | | | | | | |
| 電気 | 配管工事 | 鋼製電線管 | ねじなし電線管(EP) | | | | | | |

※更に階層を追加したい場合は、同様の手順で最大10階層まで作成することが可能です。

## ３．ESCORTマスターExcelの編集手順（部材追加編）

部材マスターの部材を追加する手順です。
部材とは部材マスター参照時の下図のことです。

| | 提出掛率コ | 提出掛 | 上書区 | 歩掛 | 部材名称 | 規格 | 単位 | 基準単価 | 定価 | 掛率 | 工費種別名称 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10110101 | G P | 1 | 0.0600 | 電 線 管 | GP-16 | m | 223 | 223 | 100% | 電工 |
| 2 | 10110101 | G P | 1 | 0.0800 | 電 線 管 | GP-22 | m | 287 | 287 | 100% | 電工 |
| 3 | 10110101 | G P | 1 | 0.1030 | 電 線 管 | GP-28 | m | 385 | 385 | 100% | 電工 |
| 4 | 10110101 | G P | 1 | 0.1240 | 電 線 管 | GP-36 | m | 500 | 500 | 100% | 電工 |
| 5 | 10110101 | G P | 1 | 0.1700 | 電 線 管 | GP-42 | m | 574 | 574 | 100% | 電工 |
| 6 | 10110101 | G P | 1 | 0.2290 | 電 線 管 | GP-54 | m | 833 | 833 | 100% | 電工 |
| 7 | 10110101 | G P | 1 | 0.2660 | 電 線 管 | GP-70 | m | 1,199 | 1,199 | 100% | 電工 |
| 8 | 10110101 | G P | 1 | 0.3230 | 電 線 管 | GP-82 | m | 1,456 | 1,456 | 100% | 電工 |

下図の赤枠部分を作成する場合の手順で説明します。

| | 提出掛率コ | 提出掛 | 上書区 | 歩掛 | 部材名称 | 規格 | 単位 | 基準単価 | 定価 | 掛率 | 工費種別名称 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10110101 | G P | 1 | 0.0600 | 電 線 管 | GP-16 | m | 223 | 223 | 100% | 電工 |
| 2 | 10110101 | G P | 1 | 0.0800 | 電 線 管 | GP-22 | m | 287 | 287 | 100% | 電工 |
| 3 | 10110101 | G P | 1 | 0.1030 | 電 線 管 | GP-28 | m | 385 | 385 | 100% | 電工 |
| 4 | 10110101 | G P | 1 | 0.1240 | 電 線 管 | GP-36 | m | 500 | 500 | 100% | 電工 |
| 5 | 10110101 | G P | 1 | 0.1700 | 電 線 管 | GP-42 | m | 574 | 574 | 100% | 電工 |
| 6 | 10110101 | G P | 1 | 0.2290 | 電 線 管 | GP-54 | m | 833 | 833 | 100% | 電工 |
| 7 | 10110101 | G P | 1 | 0.2660 | 電 線 管 | GP-70 | m | 1,199 | 1,199 | 100% | 電工 |
| 8 | 10110101 | G P | 1 | 0.3230 | 電 線 管 | GP-82 | m | 1,456 | 1,456 | 100% | 電工 |

① 前章で追加した厚鋼電線管（ＧＰ）に部材を追加していきます。

・ツリー0 ～ ツリー9
階層の厚鋼電線管（ＧＰ）の行と全く同じ状態で入力を行います。
今回の場合はツリー0に”電気”、ツリー1に”配管工事”、ツリー2に”鋼製電線管”、ツリー3に”厚鋼電線管（ＧＰ）”と入力します。



| A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾂﾘｰ 0 | ﾂﾘｰ 1 | ﾂﾘｰ 2 | ﾂﾘｰ 3 | ﾂﾘｰ 4 | ﾂﾘｰ 5 | ﾂﾘｰ 6 | ﾂﾘｰ 7 | ﾂﾘｰ 8 | ﾂﾘｰ 9 | | |
| 電気 | | | | | | | | | | | |
| 電気 | 配管工事 | | | | | | | | | | |
| 電気 | 配管工事 | 鋼製電線管 | | | | | | | | | |
| 電気 | 配管工事 | 鋼製電線管 | 厚鋼電線管(GP) | | | | | | | | |
| 電気 | 配管工事 | 鋼製電線管 | 厚鋼電線管(GP) | | | | | | | | |
| 電気 | 配管工事 | 鋼製電線管 | 厚鋼電線管(GP) | | | | | | | | |

全く同じ状態にします。

・提出掛率コード、提出掛率名称
提出掛率コード、提出掛率名称は、シミュレーション時の集約条件として使用します。
そのため同じ種類の部材であれば、同じコードを振っておく必要があります。
例）電線管 GP-16、GP-22、GP-28 ・・・　は全て同じコードになります。

提出掛率コードは、提出掛率マスタシートの一覧から、コードをコピーして貼り付けを行って下さい。




名称は空欄のままでも問題ありません。

| | A | B | C | D | E | F | G | H |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 提出掛率コード | 提出掛率名称 | 原価集計No(数 | グループNo(数字) | ｸﾞﾙｰﾌﾟ名称 | 標準用掛率(%) | 大物件用掛率(%) | 中物件用掛率(%) |
| 2 | 10110101 | G P | 200 | 101 | | 100.00% | 100.00% | 100.00 |
| 3 | 10110102 | G P　配管付属品 | 200 | 101 | | 100.00% | 100.00% | 100.00 |
| 4 | 10110103 | C P | 200 | 101 | | 100.00% | 100.00% | 100.00 |

・上書きモード 1～5

外部データ取込時（EXCELやCI-NET）や、見積書入力画面で部材を上書きする際の上書きされる項目の指定になります。

１～５のいずれかの数字を入力します。

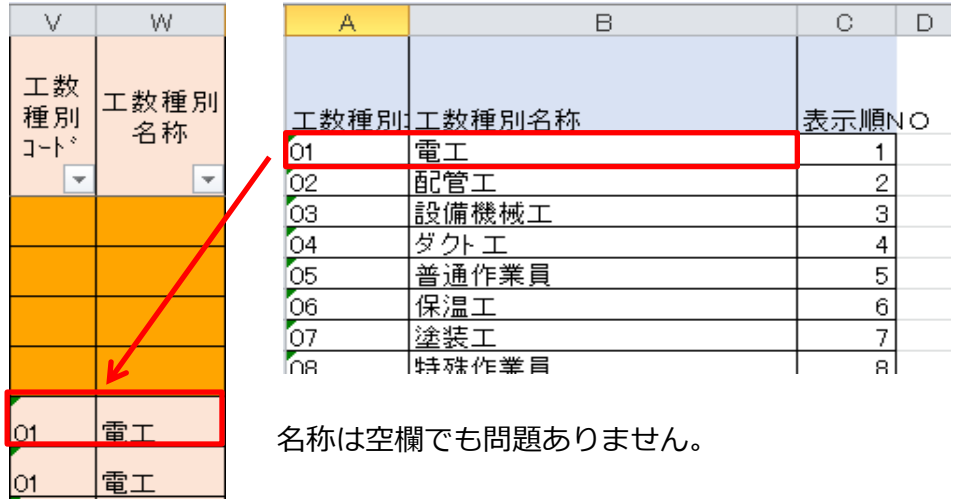
システムインストール時の規定値ですと、以下の動きになります。

1 ： 提出掛率コード、工費種別、歩掛、名称、規格、定価、基準単価、単位を上書き。
2 ： 提出掛率コード、工費種別、歩掛、定価、基準単価、単位を上書き。
3 ： 提出掛率コード、工費種別、名称、規格を上書き。
4 ： 提出掛率コード、工費種別を上書き。
5 ： ４と同じ。

・歩掛
工費の歩掛を入力します。（%入力）

・参考歩掛（メモ欄）
参考歩掛が入力できます。メモ書きとしてご使用ください。

・工数種別コード、工数種別名称
工数種別コードは、工数種別マスタシートからコードをコピーして貼り付けして下さい。




名称は空欄でも問題ありません。

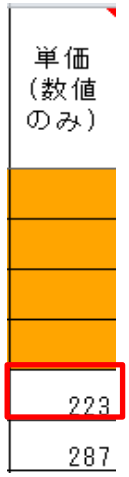
・名称、規格、単位

部材の名称、規格、単位を入力します。

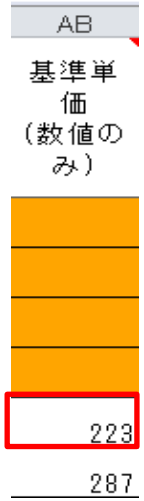



・単価

部材の単価を入力します。



・基準単価
建設物価単価など刊行物単価を入力します。
システム上の仕様としましては、単価と基準単価の両方に入力がある場合は、
単価を優先して金額計算を行います。




※　イメージとしましては、
　　単価 = 自社単価
　　基準単価 = 刊行物単価
　自社単価が無ければ刊行物単価を採用する。

・建設物価年度（メモ欄）、建設物価コード

　建設物価年度（メモ欄）…年度などのメモ欄としてご使用ください。
　建設物価コード…建設物価コードを入力してください。
　（不要、不明な場合は空の状態としてください。）

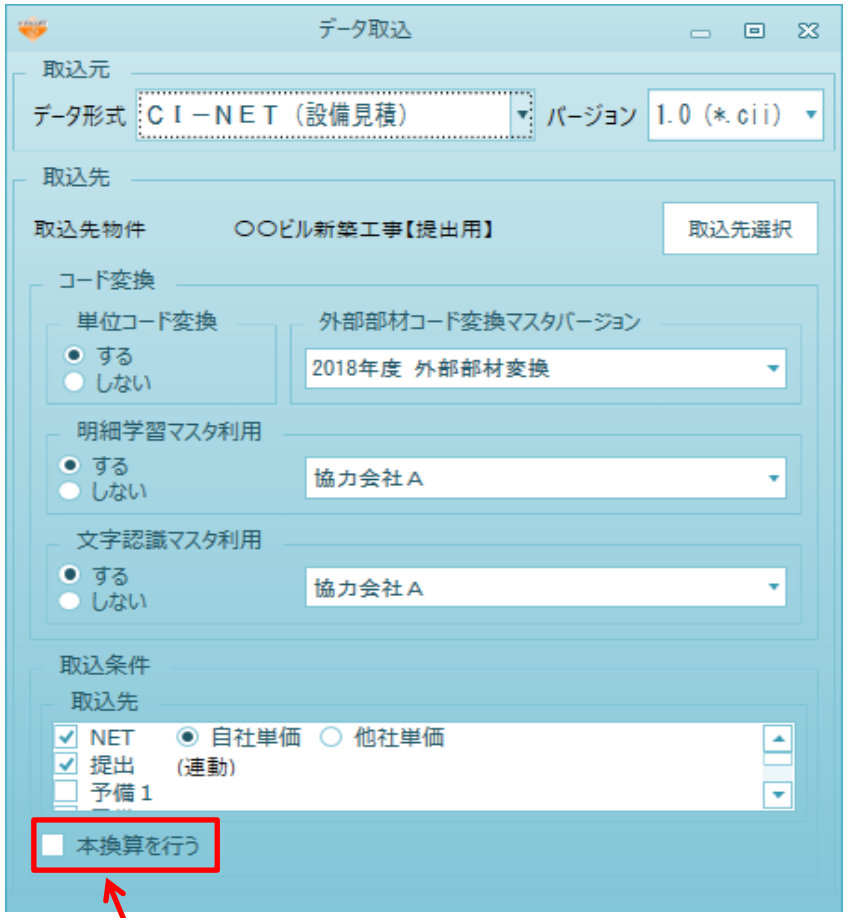
・定価（数値のみ）、定価掛率（数値のみ）
定価及び定価掛率を入力します。

| AE | AF |
|---|---|
| 定価（数値のみ） | 定価掛率（数値のみ） |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 223.00 | 100% |
| 287.00 | 100% |

単価 = 定価 * 定価掛率 として計算されます。
定価が無い場合は、定価は単価と同じ値を入力し、定価掛率は100%として下さい。

・単位量 m/本
CI-NETファイルを取込する際に本換算する場合に使用します。
1本当りのメーター数を入力します。

| X | Y | Z | AA | AB | AE | AF | AG |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名称 | 規格 | 単位 | 単価（数値のみ） | 基準単価（数値のみ） | 定価（数値のみ） | 定価掛率（数値のみ） | 単位量 m／本 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 電線管 | GP-16 | m | 223 | 223 | 223.00 | 100% | 3.66 |
| 電線管 | GP-22 | m | 287 | 287 | 287.00 | 100% | 3.66 |




チェックを付けると本換算されます。

・重量 kg/m（メモ欄）
重量 kg/mが入力できます。メモ書きとしてご使用ください。

・用途・施工（メモ欄）
用途・施工が入力できます。メモ書きとしてご使用ください。

・計算式（メモ欄）
計算式が入力できます。メモ書きとしてご使用ください。

・備考・メーカなど（メモ欄）
備考・メーカ名などが入力できます。メモ書きとしてご使用ください。

・（発生先）工費

当部材に対し発生する工費を入力します。

（発生先）工費…一式物列に入力された名称を入力します。

電線管GP-16に対し、電工費が発生する場合、
電工費の一式物セルの内容を、（発生先）工費に入力を行います。

| 名称 | 規格 | 単位 | 単価（数値のみ） | 基準単価（数値のみ） | （発生先）工費 |
|---|---|---|---|---|---|
| 電線管 | GP-16 | m | 223 | 223 | 電工 |
| 電線管 | GP-22 | m | 287 | 287 | 電工 |

| 名称 | 規格 | 単位 | 単価（数値のみ） | 基準単価（数値のみ） | 一式物 |
|---|---|---|---|---|---|
| 電工費 | | 式 | | | 電工 |

・【率】支持材、（発生先）支持材、支持材計算根拠

当部材に対し支持材が発生する場合に入力します。

【率】支持材…支持材の掛率を入力します。(%で入力)
（発生先）支持材…一式物列に入力された名称を入力します。

給水用さや管22mmに対し、同上支持金物(さや管22mm用)が発生する場合、
同上支持金物(さや管22mm用)の一式物セルの内容を、（発生先）支持材に入力を行います。

| X | Y | Z | AA | AL | AP | AQ | AR | AS | AT | AU | AV |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名称 | 規格 | 単位 | 単価（数値のみ） | （発生先）工費 | 【率】支持材 | （発生先）支持材 | 支持材計算根拠 | 【率】付属品 | （発生先）付属品 | 【率】接合材 | （発生先）接合材 |
| 給水用さや管 | 22mm | m | 80 | 配管工 | 110% | 支持金物類_60000005600_60000000000000000000000000000000000100 | | | | | |

| X | Y | Z | AA | BM |
|---|---|---|---|---|
| 名称 | 規格 | 単位 | 単価（数値のみ） | 一式物 |
| 同上支持金物 | さや管 22mm | 式 | | 支持金物類_60000005600_60000000000000000000000000000000000100 |
| 同上支持金物 | さや管 25mm | 式 | | 支持金物類_60000005600_60000000000000000000000000000000000200 |

支持材計算根拠…支持材を掛率ではなく、単価として設定したい場合に、単価と入力します。

・【率】付属品、（発生先）付属品

当部材に対し付属品が発生する場合に入力します。

【率】付属品…付属品の掛率を入力します。(%で入力)
（発生先）付属品…一式物列に入力された名称を入力します。
※支持材と同じ要領で入力してください。

・【率】接合材、（発生先）接合材

当部材に対し接合材が発生する場合に入力します。

【率】接合材…接合材の掛率を入力します。(%で入力)
（発生先）接合材…一式物列に入力された名称を入力します。
※支持材と同じ要領で入力してください。

・【率】継手、（発生先）継手

当部材に対し継手が発生する場合に入力します。

【率】継手…継手の掛率を入力します。(%で入力)
（発生先）継手…一式物列に入力された名称を入力します。
※支持材と同じ要領で入力してください。

・【率】スリーブ、（発生先）スリーブ

当部材に対しスリーブが発生する場合に入力します。

【率】スリーブ…スリーブの掛率を入力します。(%で入力)
（発生先）スリーブ…一式物列に入力された名称を入力します。

※支持材と同じ要領で入力してください。

・【率】はつり、（発生先）はつり

当部材に対しはつりが発生する場合に入力します。

【率】はつり…はつりの掛率を入力します。(%で入力)
（発生先）はつり…一式物列に入力された名称を入力します。
※支持材と同じ要領で入力してください。

・【率】試験調整費、（発生先）試験調整費

当部材に対し試験調整費が発生する場合に入力します。

【率】試験調整費…試験調整費の掛率を入力します。(%で入力)
（発生先）試験調整費…一式物列に入力された名称を入力します。
※支持材と同じ要領で入力してください。

・【率】運搬費、（発生先）運搬費

当部材に対し運搬費が発生する場合に入力します。

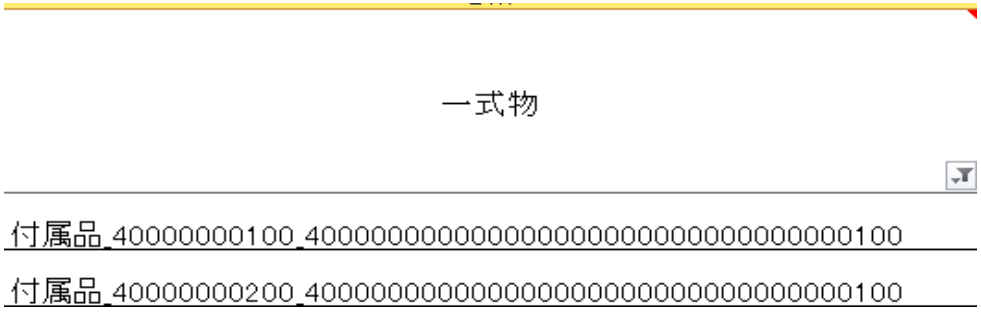
【率】運搬費…運搬費の掛率を入力します。(%で入力)
（発生先）運搬費…一式物列に入力された名称を入力します。
※支持材と同じ要領で入力してください。

・【率】消耗品、（発生先）消耗品

当部材に対し消耗品が発生する場合に入力します。

【率】消耗品…消耗品の掛率を入力します。(%で入力)
（発生先）消耗品…一式物列に入力された名称を入力します。
※支持材と同じ要領で入力してください。

・一式物
一式物に対して入力を行います。通常の部材行には入力しません。
他の一式物と区別がつくように一意の文字列を入力します。




付属品　GP　→　付属品_40000000100_40000000000000000000000000000000100

付属品　CP　→　付属品_40000000200_40000000000000000000000000000000100

※システム上では後ろに名称コード、摘要コードを付与して一意になるように設定しております。

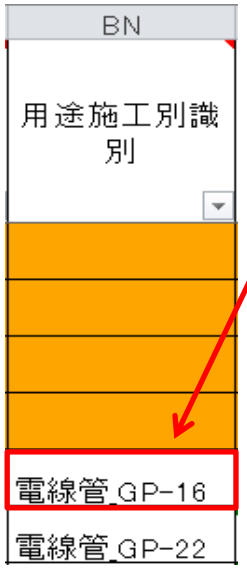
・用途施工別識別
用途施工によって歩掛を変更したい場合に入力を行います。
用途施工別歩掛マスタシートを使用します。

以下は電線管の用途施工によって歩掛を変更する場合の例です。

用途施工別歩掛シート

| | A | B | C | F | R |
|---|---|---|---|---|---|
| | 用途施工別歩掛マスタ | | | | (参考)標準歩掛 |
| 1 | 用途施工別識別 | 用途コード | 施工コード | 歩掛 | |
| 6636 | 電線管 GP-16 | 000 | 101 | 0.0600 | 6% |
| 6637 | 電線管 GP-16 | 000 | 102 | 0.0720 | 6% |

部材マスタシート




施工コードが101の場合、歩掛が6%
施工コードが102の場合、歩掛が7.2%で計算されます。
※用途・施工のコード及び名称は、用途マスタ、施工マスタシートから確認することが可能です。

用途施工別識別シートの用途施工別識別名称を、
部材マスタシートの用途施工別識別に入力を行います。

・素材機器区分
以下のいずれかの数字を入力します。

| | | |
|---|---|---|
| 素材 | : | 0 |
| 機器 | : | 1 |
| その他 | : | 9 |

※未入力の場合は全て "0" として取込を行います。

・明細種別区分
以下のいずれかの数字を入力します。

| | | |
|---|---|---|
| 明細 | ： | 0 |
| 工費 | ： | 1 |
| 継手付属品類 | ： | 2 |
| 一式物 | ： | 3 |
| 経費類 | ： | 4 |

※未入力の場合は全て "0" として取込を行います。

・印字順
印字順を入力します。
印字順は一式物自動作成処理を実行したときの並び替え順になります。



・計算分岐区分
継手の発生方法を指定します。
以下のいずれかの数字を入力します。

通常　　：　0
用途別に分ける　：　1
※明細種別区分が継手付属品類の場合のみ有効になります。

・CI-NETコード
CI-NETコードを入力します。
CI-NETファイルの取込を行う際に、こちらのコードで引き当て処理を行います。

・名称コード、摘要コード
名称コード、摘要コードを入力します。
未入力の場合は、マスタExcelを再取込する際に自動採番を行いますので空でも問題ありません。

・Excel行No
連番になるように入力を行ってください。

## ４．ESCORTマスターのExcel入力手順

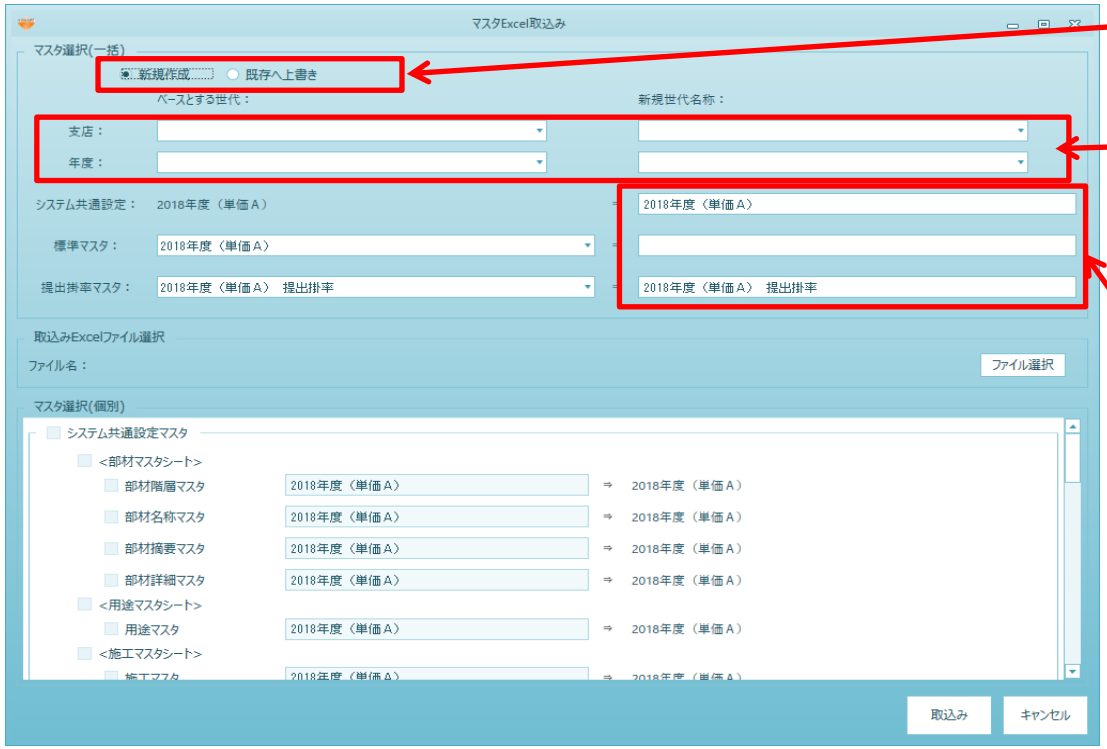
① システムにログインし、マスターメンテナンスボタンをクリックします。




② マスタExcel取込みボタンをクリックします。



③　マスタExcel取込み画面の設定を行います。




新たにマスタを作成するか、
既存のマスタに上書きで取込を行うかを選択します。

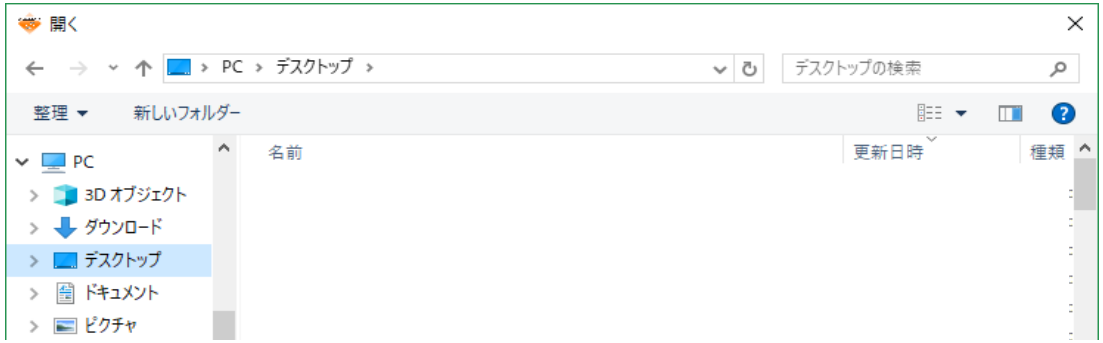
ベースとなる支店年度を選択します。
支店年度を使用していなければ空欄で良いです。

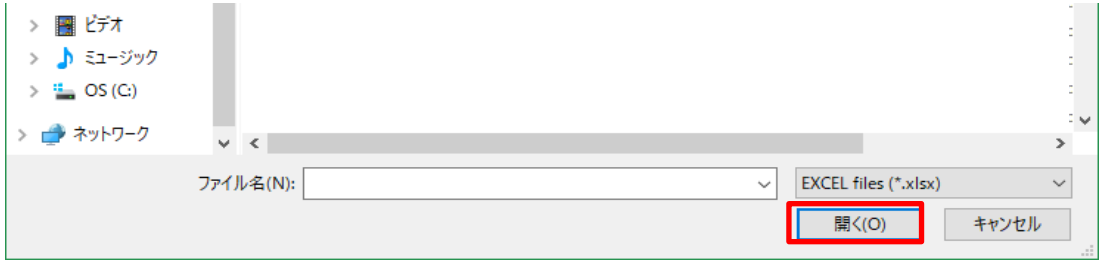
新規に作成するマスタの名称をそれぞれ入力します。

④　ファイル選択をクリックし、取込したいExcelファイルを選択します。




⑤　ファイルを選択し、開くボタンをクリックします。

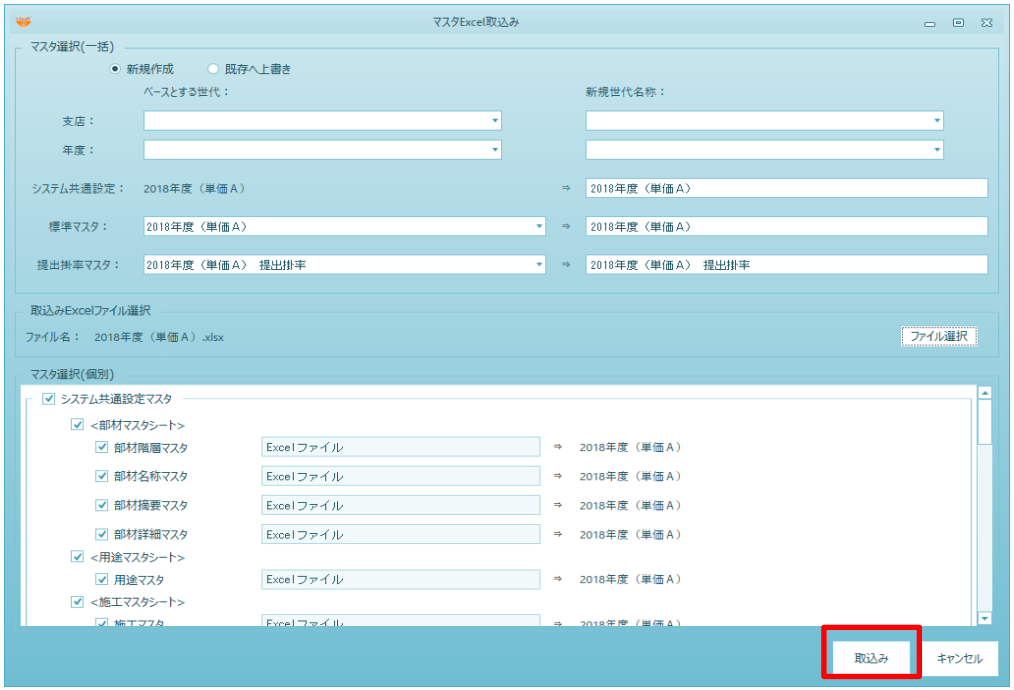




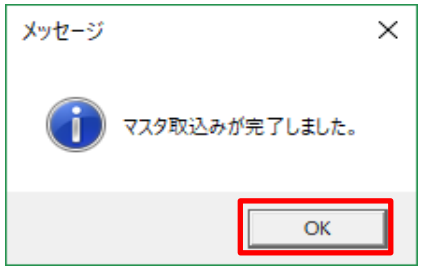

⑥　取込の確認画面が表示されます。問題が無ければOKボタンをクリックします。



⑦　取込みボタンをクリックします。




⑧　以下のメッセージが表示されましたら完了です。「OK」ボタンをクリックします。




以上で終了です。
上記手順にて解決できない場合には、弊社窓口までお問合せ下さい。